

【参考】

生活排水対策に係る市民意識調査（アンケート調査）結果

1 調査概要

- (1) 調査目的 本市の生活排水対策策定のための資料とするため。
- (2) 調査対象区域 弓浜地区 ※一部整備済区域を含む
- (3) 抽出方法及び調査実施件数
約 3,500 世帯を無作為抽出し、アンケート調査票を郵送配布・回収
- (4) 調査時期 平成 30 年 7 月（6 月 26 日発送 7 月 20 日締切り）
- (5) 回収結果 配布数 3,348 件（米子高専寮生、老人保健施設の入居者等を除く）
回収数 1,406 件 回収率 42.0%

2 結果考察のまとめ

- ・市民の生活排水対策の必要性に関する意識は、8 割を超えており関心が高い。
- ・市が進める生活排水対策としては、公共下水道整備を希望する意見が 4 割を占める一方で、合併処理浄化槽、どちらでも良いという意見は合わせて 4 割程度ある。
- ・整備に長期間を有することに対する不満や、早期整備を求める意見が多い。
- ・生活排水対策の手法としては、公共下水道が安心であると感じており、合併処理浄化槽の普及促進に当たっては、公的な関与等により適正管理を進め合併処理浄化槽の安心度を高める必要がある。
- ・公共下水道又は合併処理浄化槽への転換に当たり、費用が掛かることを懸念する意見が多くあり、補助制度及び融資制度の周知・充実が必要と考える。
- ・合併処理浄化槽の維持管理に対する認識が低く、適正管理に向けた対策が必要である。